

図書館報

第八号

昭和三十三年四月十一日
発行所 福岡市西新町
西南学院図書館

発行人 山下和夫

無人スタンドと図書館

新入生の諸君へ

館長 船越栄一

春の学会の時期は東京への汽車は
行楽シーズンとかち合つて、いつも
混むのが常である。ことに終戦直後
は三十時間近くを通氣の悪い客車の中
で過して、途中吐気を催すことが
度々だつた。くたくたに疲れて東京
駅につき、そのまま学会に出る。そ
の度ごとに学会に出る意義をつくづ
く反省させられたものだ。

ある年のこと学会のあと、一日銀
座に出た。夕暮の織るような雑踏の
中にふと見ると、路傍に「自由にお
取り下さい。五円」と書いた新聞の
無人スタンドが立っていた。私は五
円を投込んでその一つをとり上げ
た。そしてほのぼのとした気持ちにな
つた。人間に対する信頼が回復して
きた証拠である。この発見は私にと
つて学会の收穫に劣らぬ收穫であつ
た。

このことについて思出すのは、私
が小学六年生のときの篠栗の林間学
校での経験である。市内に育つた私
達には金属的な「ひぐらし」の声、
雨の降るような「かけひ」の音、す
べてが珍しいものばかりであつた。
ある日の午後全校生徒は「奥の院」
の方にハイキングに出掛けた。坂を
登り切つた処で一休みした。ふと氣
がつくと、すぐ目の前の路傍の草の
上に粗末な箱に入れて、おはぎだの
よもぎもちだのが並べてある。一つ
一銭と書いた紙片が中に入れてあ
り、だれかが食べたあと入れたので
あろう銅貨や白銅貨が二、三枚散ら
ばつて見える。遍路さんもまばらな
山路である。しかしだれもそれを盗
んで行かないのであろう。街の子で
ある私達にはそれが異様に思えた。
と同時に何か心打たれるものがあつ

た。思うにこうした絶対的な信頼は
宗教的ふんい氣の中でなければ生れ
て来ないものようである。なぜな
ら人間の道義心は信仰を通じてはじ
めて飛躍的に高まるものだからであ
る。

学院図書館は全国でも珍しい開架
式を採用している。開架式は利用者
が直接書庫内に入つて図書を閲覧す
る制度であるから、図書の損耗が甚
しくまた紛失の危険も多いとされて
いる。開架式の失敗は日本ではす
でに経験済であるという有力な反論が
あつたにもかかわらず、大学教授会
があえて開架式に踏み切つたのは、
学院がキリスト教主義を標ぼうして
立つている学校だからである。キリ
スト教主義の学校で採用できないな
らば、どこにも利用できる処はな
い。私達は学生諸君を絶対的に信頼
することから出発したのである。開
架式図書館は学院の誇りである。そ
うしてこの誇りは諸君の協力によつ
て更にその輝きを加えるのである。
諸君の自重を祈つてやまない。

用語解説

図書館という名称について
図書館は英語では Library, ド
イツ語では Bibliothek, フランス
語では Bibliothèque, といい、
ともに「図書の置き場」という程度
の意味であつた。

現在、わが国では図書館という名
称が一般化しているが、これが「と
しよかん」と呼ばれるようになった
のは明治十七年ごろからといわれて
いる。それまでは、例えば文庫、書
庫、書房、書籍館(しよじやくかん
)、などといふいろいろな呼び
方があつた。

なお図書館という文字の代りに、
「圖」を半ば文字のように使用して
いるが、これは中国の杜定由という
人が創案したもので、わが国では大
正十五年ごろ、間宮二雄という人
の使用したのが最初だといわれてい
る。

事典と辞典

事典という語は、昭和六年、平凡
社が「大百科事典」の刊行に当つて
用いたのが最初で、それ以前には事
彙という語があつたが、事典という文
字はなかつた。すなはち日本百科大
辞典(三省堂)や国民百科辞典(富
山房)などは、みな現在の事典には
いるものであるが、辞典の文字を用
いて事典とはしていないのだ。

現在では、事典と辞典とを一応区
別している。すなはち、事典はエン
サイクロペディアをいい、ことが

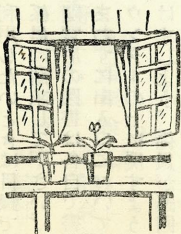
らを説明するものであり、辞典はデ
イクシヨナリーをいいことばを説明
するものである。したがつて、この両
者を区別して呼ぶときは、事典はこ
れを「ことてん」(subject book)
といい、辞典はこれを「ことばてん
」(Word book)とも呼ばれてい
る。

書誌学

書誌学とは図書を研究の対象とす
る学問で広く解釈すれば印刷学、(術)、製本術、古文書学、考証学、
文献学、分類学などまで含まれてし
まう。

この書誌学という語は、中国に
はなく、わが国で案出されたもので
、明治の初めごろ、ヨーロッパ式の
図書館方法と、文献学がはいつてき
た後、和田萬吉博士がはじめて使用
したものとされている。

現在わが国で一般に解釈されてい
る書誌学の分野は、図書館事業の基
礎となる諸学科、すなはち、組織・
運用・事務用語・整理上必要な諸
学科(国文学、古文書学、文献学な
ど)、および整理法(分類学、目録
学、排列法)なども含まれて考え
られているのが一般のようである。



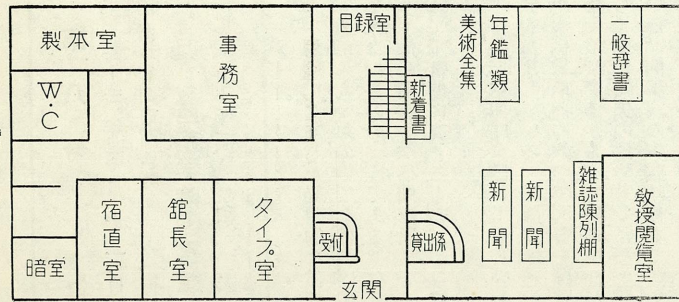
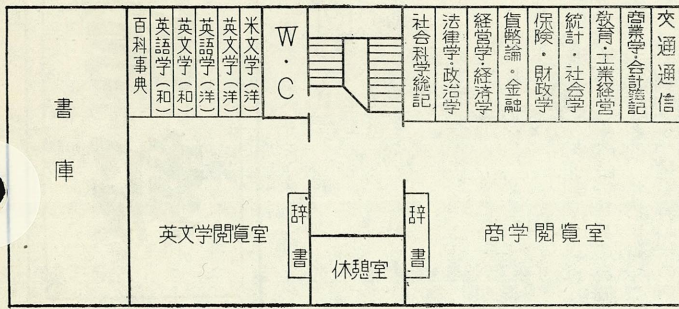
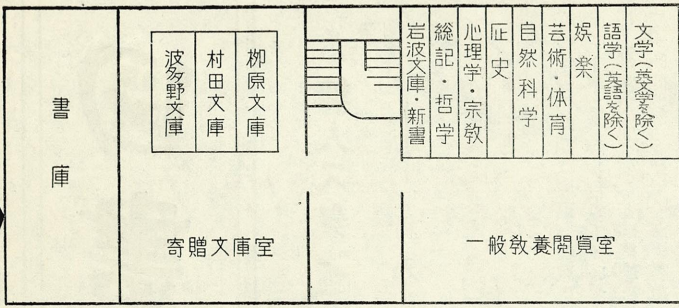
図書館案内講座

新入学生のための

閲覧案内

その六

図書館が単なる図書の倉庫ではなく学校や社会の重要な機能をうけもつ一単位であることの認識が次第に深められてくるにつれて、従来管理保存を主体としていた図書館が積極的な利用を第一義とする図書館へと推移発展していきつつあるのが現在の図書館界の実状であります。



この学院図書館はその中であつて進歩的といわれるアメリカ的自由検索制 (Free Access System) を採用しており殊に我国の大学図書館では殆どその例を見ないと云つてもよい程画期的な主題別閲覧室を設けて利用者の研究の便が図られております。

ここでは閲覧者は自由に求める図書を検出することができ、主として資料を得、満足して読書することができると思ひます。

以下に述べようとすることは皆さんがこの便利な図書館をより一層充分に活用されるためにもつて戴く予

備知識なのです。図書はどのように分類され配置されているか、目録はどんな種類のものがあるか、目録は検索するの、又入退館の手続きは、館外貸出の手続きは等々、こうした予備知識をもつて戴くことによつて更に利用の効果をあげることができましよう。充分利用された意欲深い学生生活に一段と成果をそえられるよう希望して止みません。

一、本館の蔵書
現在の蔵書数は約五万五千冊(和書三万五千冊、洋書二万冊)でその中約三万五千冊(和書の大部分と英文学関係洋書)が開架されています。又波多野文庫、村田文庫

柳原文庫等の特色あるコレクションがあります。

二、開館時間と休憩日
①平日は毎日午前八時三十分から午後九時まで開館しています。
②日曜、祝日、年末年始その他特別に定める日は休憩します。
③短大の学生の便宜のため次の曜日は午後九時三十分まで開館します。

前期(四月―九月) 火曜木曜後期(十月―三月) 月曜水曜

三、入館退館の手続
①玄関受付で学生証を提出し、入館票を受取る。
②入館票には所要事項を記入の上退館の際受付に差出して学生証の返還を受ける。

③退館するときは靴その他所持品の内部を明示しなければなりません。全面的な自由接架制を採用しているこの図書館としては止むを得ない点で、同様な事は米国の図書館でも実施されており皆さんの御協力をお願いいたします。

四、閲覧室の配置
上の図で一見してわかるように一階閲覧室には新聞、雑誌、一般辞書、年鑑、新着書等が配置され、二階には大学の専門閲覧室があり、三階はそれ以外の一般教養図書を集めた教養閲覧室となつております。

五、館内閲覧の際の注意
①求める図書が発見できないときは目録で調べるか係員に尋ねて下さい。

②書庫内の図書(大部分洋書)を利用したいときは目録で調べて係員に請求して下さい。
③閲覧後の図書は各自で書架にしまわずに出入口においてあるカウンターの上面に戻すように心掛けて下さい。係員が巡回して書棚にしまいます。各自でしまつと図書の配列順序が非常に乱れるからです。

④その他館内では他の閲覧者の妨げとならぬよう次の点に留意されるようお願いします。
脱帽、脱下駄。
集会及び娯楽行為の禁止。
休憩室以外で飲食、喫煙、雑談をしないこと。

六、目録の見方
この図書館のような自由接架式では図書が開架されているので閲覧者はとかく目録を軽視して利用しないようですが、貴重な文献や洋書などは開放されていないからこれらの文献を利用するには是非目録の見方を心得ておく必要があります。簡単にその見方を説明しておきます。

①著者名目録(和・洋共)
著者又は編者のABC順に排列され、同一著者の中は書名のABC順に排列されています。和書の著者名目録はABC順に分

さい。

②書庫内の図書(大部分洋書)を利用したいときは目録で調べて係員に請求して下さい。

③閲覧後の図書は各自で書架にしまわずに出入口においてあるカウンターの上面に戻すように心掛けて下さい。係員が巡回して書棚にしまいます。各自でしまつと図書の配列順序が非常に乱れるからです。

④その他館内では他の閲覧者の妨げとならぬよう次の点に留意されるようお願いします。
脱帽、脱下駄。
集会及び娯楽行為の禁止。
休憩室以外で飲食、喫煙、雑談をしないこと。

| | | | | |
|------|------|-----|---|-----------|
| 請求番号 | 分類記号 | 679 | 青木茂男 内部監査論 青木茂男著 中央経済社 1956 282頁 22cm | 標目(通常は著者) |
| | 受入番号 | 9 | | 標題(書名) |
| | 登録番号 | 41 | | 53943 |

けた上で更に字面で区別していますがこれは現在完全なABC順に移行中ですので当分御辛抱下さい。著者、編者名が明らかなどときはこの目録を利用するのが一番です。

②分類目録(和・洋共)
図書の内容に従って日本十進分類法(最後にその表の一部を示す)により系統的に分類されたもので図書の種類や問題など内容による検索の場合は分類目録を利用するのがよいと思われま

③書名目録(和書のみ)
書名のABC順に排列された目録で書名しかわからないときに利用するのが便利です。

左に目録カードの一例を示しておきますが、書庫の図書を利用したいときはこの請求番号によって請

七、館外貸出

本館は大学図書館として調査研究を主な目的としていますから館内閲覧の方に重点がおかれているのですが、図書の利用を徹底させる意味で館外貸出も行っており、希望者はごく簡単な手続をすませるだけで館外に図書を携出することができます。それは先ず

- ① 借出証の交付を受ける。
学生証を貸出係に提示して交付を求めれば登録の上すぐに発行してくれます。
 - ② 図書カードと借出証に所要事項を記入して図書と一緒に貸出係に提出する。――図書には必ず裏表紙の内側に貼りつけられたポケットの中に図書カードが入っていますからこれに自分の学籍番号と氏名を記入し、同時に借出証に貸出希望図書の書名と請求番号を記入するのです。
 - ③ 貸出係は日付票(Date Due)に返却期限を押して貸与してくれまから受付けるときこの返却期限印を受付け係に見せて戴けば結構です。
- 以上の手続きで図書を携出できますがその冊数は一冊限りで期間は貸出日を含めて六日間つまり丸五日間になつていきます。処で若干注意事項を述べておきますと
- ① 辞書、貴重図書その他特に指定した図書の貸出できません。この図書の背には禁帯出の丸い赤ラベルが貼つてあります。
 - ② 又新着書や新着雑誌は到着后一定期間貸出できません。
 - ③ 洋書は他に要求がなければ一回

だけ更新の手続をとつて、続けて借用することができます。貸出係に聞いて下さい。

④ 夏休み等の休暇期間中は二冊まで長期の貸出を行っており、休暇が近付くと大学の掲示板及び図書館の玄関に掲示しますから注意して下さい。

| | | | | | |
|-----|---------|-----|-------|-----|----------------|
| 000 | 総記 | 363 | 社会思想 | 800 | 語学 |
| 030 | 百科辞書 | | 社会主義 | 801 | 言語学 |
| 090 | 岩波文庫、新書 | 364 | 社会政策 | 810 | 日本語 |
| 100 | 哲学 | 366 | 労働問題 | 820 | 中国語 |
| 101 | 哲学概論 | 370 | 教育 | 830 | 英語 |
| 102 | 哲学史 | 380 | 風俗、習慣 | .1 | 英語学 |
| 110 | 哲学各論 | 400 | 自然科学 | 831 | 音韻、文字 |
| 120 | 東洋哲学 | 410 | 数学 | 833 | 辞文、書法 |
| 130 | 西洋哲学 | 420 | 物理学 | 835 | 文作 |
| 140 | 心理学 | 430 | 化学 | 836 | 読本、解釈、会話 |
| 190 | キリスト教 | 450 | 地学 | 837 | 方言、俗語 |
| 200 | 歴史 | 460 | 生物学 | 838 | ドイツ語 |
| 210 | 日本 | 500 | 工学 | 840 | フランス語 |
| 220 | アジア | 509 | 工業経営 | 850 | ロシア語 |
| 230 | ヨーロッパ | 600 | 産業 | 880 | ロシア語学 |
| 300 | 社会科学 | 610 | 農業 | 900 | 文学理論 |
| 310 | 政治 | 670 | 商業 | 901 | 世界文学全集 |
| 320 | 法律 | .1 | 商業概論 | 908 | 日本文学 |
| 323 | 憲法行、行政法 | .9 | 商業通信 | 910 | 詩歌 |
| 324 | 民法 | 671 | 商業政策 | 911 | 戯曲 |
| 325 | 商法 | 672 | 商業史 | 912 | 小説、物語 |
| 330 | 経済 | 673 | 商店、販売 | 913 | 随筆、評論 |
| 331 | 経済学 | 674 | 商品、広告 | 914 | 日記、紀行 |
| 332 | 経済史 | 675 | 配給、市場 | 915 | 書簡 |
| 333 | 経済政策 | 677 | 倉庫 | 916 | 諷刺 |
| 334 | 人口、移植民 | 678 | 貿易 | 917 | 全集、撰集 |
| 335 | 経営学 | 679 | 会計、簿記 | 918 | |
| 336 | 景気、恐慌 | 680 | 交通 | 920 | 中国文学、何れも日文学同様に |
| 337 | 貨幣、通貨 | 690 | 通信 | 930 | 英米文学 |
| 338 | 金融、銀行 | 700 | 芸術 | 940 | ドイツ文学 |
| 339 | 保険 | 720 | 絵画 | 950 | フランス文学 |
| 340 | 財政 | 740 | 寫真 | 980 | ロシア文学 |
| 350 | 統計 | 760 | 音楽 | | |
| 360 | 社会 | 770 | 演劇 | | |
| 361 | 社会学 | 780 | 運動、体育 | | |
| 362 | 社会史 | 790 | 遊芸、娯楽 | | |

④ 図書の貸出を受けたら返却期限に遅れないよう注意しなければなりません。遅れた場合は一冊一日につき十円の延滞金を徴収します。

⑤ 図書を他人に転貸することの無いよう、若し転貸して亡くなつたときは貸出手続をとつた人の責任として弁償して戴きます。以上で大体の説明を終わりますが、若し手続きが分らなかつたり、目録でひけないとき又図書が発見できないときなどは係員に質問して下さい。最後に本館の蔵書の分類表を一部掲げておきます。

(注意 英文学の洋書は作品910、英文学作品938、日文学同様に2米文学作品となつている。)

閲覧係より

○昨上半期の入館者は左記の表の通りです。

○これでも分る様に最近の入館者数は幾分増加の傾向にあります。

それと共に、館内の静粛維持が守られなくなつて来て居ます。

特に昼休前後及び午後の館内は非常に騒がしく、さながら館全体が休憩室の観がある事は非常に遺憾です。

○入館者の増加と云う事は大變喜ばしい事でありますが数の増加と共に館内道徳の向上が望まれます。

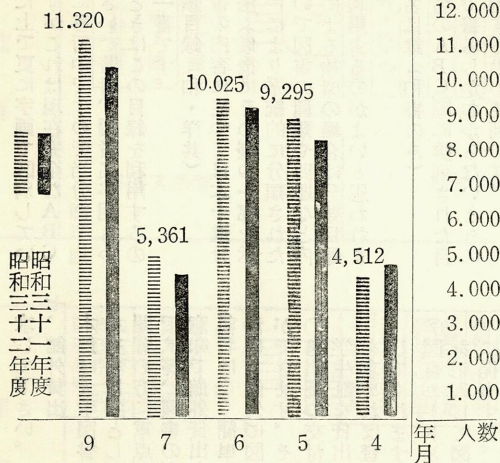
○当館の様におーブンシステム(自由接架式)の図書館は全国でも比較的少くそれ丈に図書館界では常に注目されて居ります。

特に開架式図書館では圖書の無断持出、頁の切取り、書架配列の混乱等、利用者の品位徳性にかゝる点が多く学生諸君の道徳心に訴えて御協力をお願い致します。

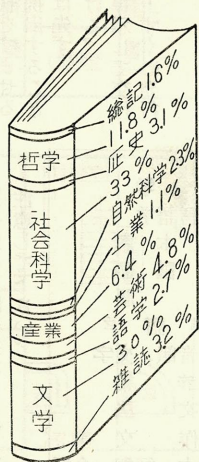
○退館時には必ず所持品を見せせて頂く様お願い致します。

もと／＼所持品の検査等と云うものは、する方もされる方も少からず氣持の上で抵抗を感じるものですが、英国の開架式図書館ではノート以外は持ち込めず、身体検査を行う所もあると云う位で、おーブンシステムの図書館での所持品検査は、むしろ常識とさえ云えます。

入館者数(大学、短大、高校、中学、職員)



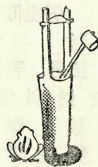
| | |
|-----|---------|
| 記 史 | 174冊 |
| 哲 学 | 1,303冊 |
| 社 会 | 337冊 |
| 自 然 | 3,680冊 |
| 工 業 | 259冊 |
| 産 業 | 123冊 |
| 芸 術 | 714冊 |
| 語 学 | 533冊 |
| 文 学 | 303冊 |
| 文 学 | 3,264冊 |
| 文 学 | 353冊 |
| 計 | 11,047冊 |



(昭和卅二年四月〜九月現在)

どんな本がどれだけ貸出されたか

貸出されたか



皆さん御協力をお願いする所以であります。

○尚、学生証を提出する際受付附近に現金等を落とされる方がありません。

呉々も御注意下さい。

又学生証は必ず定期券入から出して提出して下さい。

○二階商学・英文学閲覧室は殆どが大学生向の専門書ばかりですので、中学、高校生は御遠慮下さい。

味 譚 民

倉 光 霜 風

猿蟹や浦島のおとぎの世界は幼児をして目をみはらせる。私もそうした楽しい時代があつたのだ。否誰でもそしてどこの国にてもそうした楽しい世界はあるものだ。

近頃私は幼児ともそうした楽しい世界を見るも日本に親まれる話は大分中国のそれに關係がある。不思議な玉の話は中国の水神説話に似ているし、羽衣の話は中国の搜神記にも出て居る。浦島太郎の玉手箱は誰彼ならしに馴じみ深いものだが、中国の水神説話では龍宮からお土産として宝物をもらつて来る様になつて居る。之は中国の民衆が富に對する一つのあこがれをあらわしていると言われよう。水神と結婚する事も民衆の願の表現だろう。柳毅伝は会真記と共にさわがれた美しい小説だが、それもそのかけには伝承説話がもとになつて居る。儒生柳毅が落第失意の時ふとした事から洞庭龍君の女に会う。女は涿川君の次息に嫁し舅姑と夫に苦しめられて居るのをきいて龍女の伝言を龍君に伝える。之が縁となつて二妻を失つた柳毅は知らずして此の龍女と結婚し幸をつかむ。ここでは不思議な幸福は美しい女であり、又富そのものである。やはり人々の求めている幸福の象徴である。こうした事は大人も小供も無心になつてきいていた事を想像される。

面白いのは如願の話である。或る商人が湖を通る毎に水神を祭る意味で必ず品物や金を投げ込む。それを愛でて或る時水神の使が現われ龍宮に案内する。そして日頃の心がけを賞でてほうびを与える。商人は使者からいわれた様に侍女如願を所望する。如願は欲しいものは何でもかなえる女である。彼は願の通り如願を授けて歸り大金持になるといふのだ。ここでも富と女という民衆のあこがれが表わされている。一寸法師や小槌の話も之に似ている。

私は去る日、茶室新築の祝によれば命名を頼まれた。見れば南に大きな樹があつたので、南堂柯とつけた。いわれは「南柯太守伝」に思いついたからだ。その話を一応披露すると一座耳を傾けて聞いて呉れた。日本と中国の話はすべてに結つて居る。柳奇志異と雨月物語や長恨歌と源氏、殊に戦記物語や近世日本文学には中国のそれらを見逃す事は出来ない。猿飛佐助の忍術も馬琴の小説侠客伝に桶狭間が足利義満の第内に忍込んで義満を射るなども唐の劍俠の忍術にもづくものだろう。素朴な物語の世界は幼少年の世界につながるものだ。そして大人の心にも。最近の新刊書に故事の出版が多くなつて居るのも世界に大きな関心か払われて来たものと喜びに堪えない。文学するものゝ将来指導者となるものは之らの中国のものを知らずしては味は足りぬ。

(筆者は本学教授)